第26号

森の通信

宮崎県総合博物館
発行日/平成11年7月1日

発行/宮崎県総合博物館　〒880-0053　宮崎市神宮2丁目4番4号TEL (0985)24-2071
http://www.pref.miyazaki.jp/museum/

特別企画展「石灰岩に生きる植物」1999. 7/31（土）～ 8/29（日）

白い岩に咲く花たち

ソバナ

イワギク

宮崎県北西部にそびえる石灰岩（五ヶ瀬町・白岩山）

キリンソウ

ヤマブキ

石灰岩に含まれるウミユリ化石

入館料／大　人500(400)円　高大生300(200)円
小中生200(100)円　（ ）内は20名以上の団体
※なお、常設展入館は別途料金になります。

●記念講演会●
「石灰岩と植物」
講師：清水建美氏（金沢大学名誉教授）
日時：8月8日（日）13：30～15：00
会場：宮崎県総合博物館　県民文化ホール

宮崎県北西部の椎葉村・五ヶ瀬町・諸塚村・高千穂町・日之影町などには、いきものがつくった白い岩～「石灰岩」が見られます。石灰岩は植物たちにとって、決してすみよい環境とはいえませんが、五ヶ瀬町の白岩山をはじめとする宮崎県の石灰岩地には私たちがふだん目にすることができない植物たちがたくさん集まっています。

この展示会では、宮崎のあまり知られていない特殊な自然環境ー「石灰岩」にたくましく生きる宮崎や全国の植物たちを中心に展示し、そこにすむいきもの・石灰岩に含まれるさまざまな化石・石灰岩に生きる植物たちの保護活動なども紹介します。

博物館講座

博物館講座「干潟の生きもの観察会」を延岡市櫛津干潟で実施しました。目的は、干潟が多くの生物を育み、その生物が複雑に結びつき、自然界の浄化槽としての働きをしていることを参加された方に知っていただくことです。講師の先生として鹿児島大学理学部助教授佐藤正典氏をお招きし、干潟の役割についての講話、観察の指導をしていただきました。

参加者の声

大切なもの

延岡市土々呂町　斉藤 弘子

博物館主催の干潟の生き物観察会に、子どもと参加しました。講師の先生によると、妙見湾の櫛津干潟は県内二番目の規模で、ほとんど護岸工事がなされていないということです。「山から流れるように続いている干潟を初めて見た時には、あまりの美しさにため息が出た」と話していらっしゃいました。今まで近くにありすぎて見えなかった景色が、この日はとても輝いていました。

色鮮やかなサンゴ礁などと違い、一見地味に見える干潟から、私たち人間がどれほどの恩恵を受けているかをわかりやすく説明していただいた後、観察場所に着くと、その日は大潮で見事に潮が引き、辺り一面干潟になっていました。

子どもたちは大喜びで、バケツとスコップを手に干潟に入って行きます。何もいないように見える所に、居るわ居るわ…。昔に比べすみにくくなったであろうに、愛らしい生き物たちが一生懸命生活しているのです。アシハラガニ、シオマネキ、ゴカイ、トビハゼなど子どもたちは珍しい生き物を見つけて大喜びです。

講師の先生は「環境汚染などで貴重な生物が激減する中、一番寂しいのは子どもたちの感性も失われてきているということです」と結ばれました。

うれしそうに走り回り、自然と触れ合っている子どもたちを見ていると、失う前にもっと早くその素晴らしさに気づき、大切にしなければならないものがたくさんあることを考えさせられた一日でした。

―夕刊デイリー新聞社　読者ジャーナル5/24より―

平成11年度7月以降の講座（予定）

※詳しくは博物館のちらしをご覧ください。

月	博物館本館	西都原資料館・体験館
7	4日(日)野外調査会(昆虫②)、10日(土)植物の標本を作ろう、11日(日)磯の自然観察会、24日(土)化石・岩石の標本を作ろう、25日(日)昆虫の標本を作ろう	22日(木)～夏休み半日講座、24日(土)古墳めぐり、28日(水)古代体験少年団「古代人になろう1」
8	1日(日)野外調査会(昆虫③)、7日(土)子ども民俗教室、8日(日)宮崎の地形・地質観察会 21日(土)微化石を探そう、29日(日)採集作品の名前を調べる会	～27日(金)夏休み半日講座、4日(水)古代体験少年団「古代人になろう2」
9	5日(日)自然保護講座「ウエットランドの植物の現状③」、19日(日)野外調査会(きのこ①)、25日(土)古代生物教室、26日(日)自然保護講座「ウエットランドの植物の現状④」	11日(土)古代体験少年団「音を作ろう」
10	3日(日)野外調査会（きのこ②）、7日(木)歴史と民俗講座、9日(土)照葉樹林探検、15日(金)なにがでるかな？遺跡発掘体験隊、23日(土)野外調査会（きのこ③）	9日(土)古代体験少年団「食材探検」、30日(土)西都原周辺の歴史と民俗
11	6日(土)宮崎の民俗（いのりとまつり）、13日(土)親子で探訪「西都原古墳群②」、27日(土)子ども自然史展示探検クイズ②	13日(土)古代体験少年団「古代人の秋祭り」、27日(土)古代染色
12	5日(日)野外調査会（昆虫④）、11日(土)野鳥観察会②	11日(土)縄文ポシェット作り・少年団「清掃ボランティア」
1		22日(土)古代体験少年団「縄文土器」
2	11日(金)自然史展示特別解説会、17日(木)歴史教室「あなたの宝物館」	12日(土)古代体験少年団「野焼き」、26日(土)古代おもしろ講座
3		11日(土)古代体験少年団「アルバム制作」
応募	往復はがきに、講座名、住所、氏名（児童の場合は学校名、学年）・電話番号を記入して、講座日の2週間前までに、申し込んで下さい。FAXでも受け付けています。	お電話でお問い合わせ下さい。 古代生活体験館（0983）43-5002 西都原資料館（0983）43-1354

5月25日（火）より、「平成10年度出土資料展」を行っています。「歴史ロマン再生事業」として、西都原古墳群の保存整備のための発掘調査（西都原169号・171号）や日向の国衙（国司の役所）を特定するための「国衙跡保存整備基礎調査」（寺崎遺跡）（以上宮崎県教育委員会）の成果を、コーナー展として紹介しています。特に目を引くのは、5世紀代では九州で初めての発見であるという壺型埴輪（169号墳出土）です。また、国衙正殿と推定される建物跡の写真や建物の屋根に使われた布目瓦などが展示してあります。

西都原資料館より

古代生活体験館より
秋篠宮殿下、同妃殿下ご来館

平成11年4月14日、両殿下が体験館で土笛・まが玉・ドングリクッキーの製作体験の様子をご視察されました。殿下は、材料や製作手順に大変興味を示され、「まが玉の石は何ですか。」とお尋ねになられました。妃殿下は、終始笑顔で子どもたちに「ナイフで手を切らないでね。」「笛の音を聞かせてくれてありがとう。」とやさしく気さくに声をかけられていました。緊張していた子どもたちも和やかな雰囲気の中で製作に熱中していました。

常設展示室探検!! ～人気スポット～
弥生土器復元パズル（歴史展示室）

花びら形住居のそばにある弥生土器の復元パズルは、いつも子どもたちに大人気です。破片20個からなるこの模型は、埋め込まれた永久磁石をステンレス製の中子にパチパチくっつけてもとの形に復元していきます。モデルは、佐土原町下那珂遺跡から出土した鳥の線刻画のある弥生時代後期の壺形土器で、大きさ、色合いまで忠実に再現しています。土器の形や当時のくらしについて遊びながら興味をもってもらえればと考えて製作しました。親子で組み立てられている姿は微笑ましいものです。

〜団体利用のようす〜

"恐竜の骨がすごかったです！　それとゲームが楽しかった。また、来たいです。"（霧島町立大田小学校６年い組・津曲綾香さんの感想）例年５月から６月にかけて博物館は、小中学校の遠足や修学旅行の団体でにぎわいます。鹿児島県から来られる小学校の修学旅行では、本館のほかに平和台公園・宮崎科学技術館・みやざき歴史文化館等とシーガイアを組み合わせる１泊２日コースがみられます。本館の展示室は３倍も広くなったので時間が足りないかもしれませんね。新しくなった博物館を存分に楽しんでください。

自然史展示室で

オープンから平成11年６月までに来館された学校

宮崎県内小学校	137校
中学校	35校
高等学校	21校
盲・ろう・養護学校	6校
鹿児島県内小学校	21校

みなさん、ありがとうございました。

秋以降の特展

特別企画展「大鳥展」

平成11年 10/9（土）〜 11/14（日）

羽毛をもった恐竜といわれる鳥類の起源と進化をはじめとして、私たちの知ることの少ない現在の鳥類の姿や生活を紹介します。さらに、身近な鳥や話題の鳥に触れ、鳥の置かれている立場や人との係りについて展開します。さらに、鳥の体の構造を科学的に捉え、体感・体験できるコーナーもあります。

鳥展のマスコット「ドードー」くん

企画展「みやざきの技」
〜木・竹・草と民具〜

平成12年 1/22（土）〜 2/20（日）

本企画展では、木・竹・草など身近な素材を利用してつくられた民具に焦点をあて、素材・製作用具・製品等の実際の資料に写真や映像・実演を合わせて、一堂に展示紹介します。素材を見極める技・加工する技・完成させる技など「技」と「術」と「心」が一体となっている様相を明らかにしようとするものです。

友の会入会のご案内

博物館を積極的に利用し、広く宮崎の自然と歴史に親しむとともに会員相互の親睦をはかることを目的とした皆さんの会で、どなたでも入会できます。

◇あなたも自然と歴史・新しい人との出会いを楽しんでみませんか◇

会費（年間）は

個人会員　小中学生：1,000円　高校生以上：2,000円
家族会員　2,500円：（何名でも結構です。）
賛助会員　（企業・団体等）：10,000円

手続きは〜博物館（TEL0985－24－2071）にお問い合わせ下さい。

会員の特典は

○無料で展示を観覧できます。
○友の会主催の行事に参加できます。
○会報、博物館の各種催しの案内を受けることができます。
○この会で発行する刊行物を割引価格で購入できます。

燻蒸（くんじょう）のための臨時休館のお知らせ

現在、博物館には約７万点の資料が収蔵されています。これらの大切な資料を虫害やカビの害から守り、永久に残していくために博物館では例年薬剤による燻蒸作業を実施しています。今年も、以下の期間休館となりますのであらかじめお知らせいたします。なお、休館の期間は若干変更になることがあります。

臨時休館：
平成11年９月２日(木)から９月14日(火)の間

宮崎県総合博物館のホームページが開設されました

アドレスは
http://www.pref.miyazaki.jp/museum/

宮崎県庁のホームページからもアクセスできます。インターネットで宮崎県総合博物館へバーチャル入館して下さい。